

第105回 「懐かしい江戸へいらっしゃいの会」のお知らせ

ことしの夏期は日本各地の季節がわるく、記録的な雨量、洪水、土砂の崩壊が重なって「山が動いている」という言葉が地域でとりあげられています。

広島市の郊外、安佐北・南の被害は、日本人の腸の甘い生活術の見通しの無さを露呈したようです。「衣・食・住」のいちばんの基盤にある「住」に抜かりがあったのです。認識の度を深めて生き抜いていく脚元を固めなければなりません。一方、被害の片づけと復興に大いなる知恵が必要ですが日本の首都である「東京」は大丈夫か？オリンピックの開催をひかえて未来志向の堅実さをつよく求められています。

さて、折柄の時機に当たって「江戸東京野菜」（物語篇）（図鑑篇）の二冊（筆者大竹道茂さん）が出現して庶民層の話題を渡っています。大竹さんの繰り広げている話題は、判りやすく新鮮で未来がくっきりと見えてきます。その大竹道茂さんをお招きして、お話を頂くよう決まりました。テーマは「次世代に伝えたい江戸東京野菜」です。

江戸に接みついて、現在の東京には、すばらしい食材がそろっている。その発見と注目の度合いは急なるものがあります。料理研究家にもさまざまな動きがあります。新しい食材をとらえ直して生活感を十分に広げていきたいと考えます。新鮮で目のさめる日常性を取り戻すことになるでしょう。

皆様には是非ともお友達を誘って頂きご参加なさるようお願いいたします。

龍 生

「次世代に伝えたい江戸東京野菜」

語りべ：大竹 道茂 氏

日 時：平成 26 年9月28日（日曜日） 午後 **2時**～**5時**

場 所：「銀座会議室三丁目」

中央区銀座3-7-10 （松屋アネックスビル2F）

銀座四丁目交差点

○和光

○三越

王子製紙

○松屋

■銀座会議室

大竹道茂氏の略歴

1944年生まれ。江戸東京伝統野菜研究会代表。